



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月10日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL <https://www.yamatointr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 IR経営企画室長 (氏名) 保田 大輔 TEL 03-5493-5629
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績（2025年9月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	15,345	1.2	60	△51.5	179	△11.8	179	28.6
2025年8月期第3四半期	15,167	△6.6	125	△67.2	203	△55.5	139	△59.2

(注) 包括利益2026年8月期第3四半期 455百万円 (43.7%) 2025年8月期第3四半期 317百万円 (△67.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	8.79	—
2025年8月期第3四半期	6.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期第3四半期	24,387	17,375	71.2	853.43
2025年8月期	23,301	17,314	74.3	845.76

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 17,375百万円 2025年8月期 17,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2026年8月期	—	6.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	5.4	180	—	270	—	200	39.7	9.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期3Q	21,302,936株	2025年8月期	21,302,936株
2026年8月期3Q	943,389株	2025年8月期	830,944株
2026年8月期3Q	20,426,962株	2025年8月期3Q	20,544,689株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格をはじめとする資源価格の高騰や円安を背景とする物価高、金利・賃金の上昇等にみられるとおり、インフレ社会が到来し時代の転換期を迎えております。更には、欧州・中東情勢をはじめとする地政学リスクや米国の経済政策の動向等、国際情勢や金融市場はますます複雑化し、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、所得環境の改善やインバウンド需要の拡大に支えられ、個人消費の持ち直しの動きが一部に見られました。その一方で、継続的な物価上昇によるお客様の生活防衛意識の高まりや常態化する猛暑・残暑等、気候変動による衣料品全般に対する購買動機とその機会の変容が懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でも どのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指しております。

これらを背景に始動した中期ビジョン「Yamato 2026」では10年後を視野に、既顧客の活性化を大前提としながらも、次の世代の潜在顧客獲得に より比重を置いた戦略を実践してまいります。そして、10年後のあるべき姿として、次の世代のお客様が当社のブランドを認知認識し、私たち創り手の意図を理解し、詳細な特徴を語り他者へ共有できる、更にはお客様同士も共鳴できる状態。お客様も社員も誇れる真のブランドになっている姿を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、「“大人のTPO”をスマートに演出するブランド」をコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築してまいります。

潜在顧客の獲得に向けましては、「クロコダイル」グループにおける先進的な役割を担う2つの「ストラテジックライン」である「スイッチモーション クロコダイル」と「クロコダイル コード」が順調に成長しており、引き続き売場面積の拡張を目指し、事業規模の拡大を図り、「粗利額と率」の伸長に努めてまいります。

また今期は、当社を取り巻く環境の急激な変化に対応するべく、戦略的な価格とそれを実現するための供給体制の構築を推し進めております。時代の変化に合わせブランド・商品・サービスをアップデートし提供することで、インフレ禍であってもお客様がお求めやすく 選びやすい商品構成を整えてまいります。

更に商品、店舗、コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

また、自ら商標権を保有しライセンス事業を展開する米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」と、ハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、更なる事業拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、EC事業の成長に伴い小口配送の件数が年々増加しております。近年導入を進めてきた自動ソーター、自動製封函機、及びカメラ認証システムも活用し、物流業務の変化にも対応しております。今後も、積極的な投資による業務の自動化、省人化を推進することで、更なる生産性向上を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高が153億4千5百万円（前年同期比1.2%増）となりました。利益面では売上総利益率は55.7%（前年同期比1.6ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については84億9千1百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は6千万円（前年同期比51.5%減）、経常利益は1億7千9百万円（前年同期比11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千9百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業151億2千6百万円（前年同期比1.2%増）、不動産賃貸事業2億1千8百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は110億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億1千3百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が11億7千万円、受取手形、売掛金及び契約資産が5億8千万円それぞれ増加し、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金が63億8千万円から54億6千9百万円と9億1千万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は133億6千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億7千3百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券が3億5千8百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は243億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億8千6百万円増加いたしました。
(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は55億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億5千7百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が10億9百万円増加し、支払手形及び買掛金が5千万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は14億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千7百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が1億2千8百万円増加し、長期借入金が1億6百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は70億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億2千5百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は173億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が1億4千7百万円減少し、その他有価証券評価差額金が2億6千3百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は71.2%（前連結会計年度末は74.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想については、2026年3月27日に公表しました内容に変更はございません。（なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,880,363	3,569,432
受取手形、売掛金及び契約資産	1,187,424	1,767,538
有価証券	1,499,771	1,900,000
商品及び製品	2,372,972	3,543,138
仕掛品	97,127	104,042
その他	271,060	137,992
流動資産合計	10,308,720	11,022,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,385,178	1,389,711
機械装置及び運搬具（純額）	80,785	85,780
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産（純額）	15,007	6,770
その他（純額）	39,334	37,449
有形固定資産合計	6,699,373	6,698,778
無形固定資産	4,891	6,177
投資その他の資産		
投資有価証券	5,902,647	6,260,975
差入保証金	109,523	109,572
退職給付に係る資産	195,461	208,526
繰延税金資産	1,186	3,290
その他	107,000	105,780
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	6,288,147	6,660,473
固定資産合計	12,992,413	13,365,430
資産合計	23,301,133	24,387,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	625,351	575,117
電子記録債務	2,830,289	3,840,003
1年内返済予定の長期借入金	230,572	197,372
未払法人税等	68,490	65,009
賞与引当金	69,324	—
その他	739,110	843,564
流動負債合計	4,563,137	5,521,065
固定負債		
長期借入金	585,745	479,316
資産除去債務	78,885	79,139
繰延税金負債	562,221	690,813
その他	196,702	241,844
固定負債合計	1,423,554	1,491,113
負債合計	5,986,692	7,012,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,336,023	6,188,703
自己株式	△394,903	△462,915
株主資本合計	15,847,465	15,632,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,489,377	1,752,928
繰延ヘッジ損益	△964	8,829
退職給付に係る調整累計額	△21,437	△18,494
その他の包括利益累計額合計	1,466,976	1,743,263
純資産合計	17,314,441	17,375,396
負債純資産合計	23,301,133	24,387,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	15,167,796	15,345,003
売上原価	6,480,411	6,792,689
売上総利益	8,687,384	8,552,313
販売費及び一般管理費	8,561,798	8,491,356
営業利益	125,586	60,957
営業外収益		
受取利息	27,359	42,558
受取配当金	46,247	44,236
為替差益	-	25,121
その他	12,309	14,363
営業外収益合計	85,916	126,280
営業外費用		
支払利息	6,061	6,648
為替差損	1,523	-
その他	851	1,462
営業外費用合計	8,436	8,110
経常利益	203,066	179,127
特別利益		
投資有価証券売却益	-	95,043
特別利益合計	-	95,043
特別損失		
固定資産除却損	458	6,961
特別損失合計	458	6,961
税金等調整前四半期純利益	202,607	267,209
法人税、住民税及び事業税	60,413	90,131
法人税等調整額	2,592	△2,479
法人税等合計	63,005	87,651
四半期純利益	139,601	179,557
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,601	179,557

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	139,601	179,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179,010	263,550
繰延ヘッジ損益	△2,106	9,793
退職給付に係る調整額	742	2,942
その他の包括利益合計	177,647	276,286
四半期包括利益	317,249	455,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,249	455,844
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,953,103	214,692	15,167,796	—	15,167,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,953,103	214,692	15,167,796	—	15,167,796
セグメント利益	512,237	100,528	612,765	△487,179	125,586

(注)1. セグメント利益の調整額△487,179千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,126,901	218,101	15,345,003	—	15,345,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,126,901	218,101	15,345,003	—	15,345,003
セグメント利益	478,182	85,435	563,618	△502,661	60,957

(注)1. セグメント利益の調整額△502,661千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	129,851千円	111,818千円